

令和6年度自己評価（評価の高い順に◎>○>△>●）

|                                       |   |                                                                                          |
|---------------------------------------|---|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 誰にでも気持ちのよいあいさつをしよう。                   | ○ | コロナ禍収束後、明るいあいさつをする生徒が再び増えてきた。人間関係づくりの基本であるあいさつの大切さを今後も呼びかけていきたい。                         |
| 普段から中学生らしい身だしなみを心がけよう。                | ○ | さわやかで清潔感のある生徒が多い。身だしなみをきちんと整えようとする意識が定着している。                                             |
| 「早寝・早起き・朝ごはん」を生活のリズムにしよう。             | ○ | 大半は良好な状態だが、一部に生活リズムの整っていない生徒も見受けられる。基本的な生活習慣確立の重要性を、今後も継続的に呼びかけていく。                      |
| 遅刻・欠席をできるだけなくそう。                      | ◎ | 全体的に、時間の順守とその有効活用を心がけようとする生徒が大半であり、良好である。                                                |
| 友だちと協力し、仲良くし、いじめのない学校を作ろう。            | ○ | 全体的に良好な状態である。時に生徒同士の関係に課題が生じることもあるが、大半の生徒たちは自らの力でそれをきちんと改善できている。                         |
| 学校行事や生徒会活動に積極的に参加しよう。                 | ◎ | 学校行事その他に対し、生徒たちは相互に協力しながら積極的に取り組んでいる。その結果、大変満足度の高い学校生活を送ることができている。                       |
| 予習・復習をきちんとし、家庭学習の習慣を身につけよう。           | ○ | 家庭学習に真面目に取り組んでいる生徒は多い。次年度も学校での学習と家庭学習を連動させ、さらにより良い習慣を定着させていきたい。                          |
| 授業の開始・終わりのけじめをきちんとつけよう。               | ○ | 授業の開始終了のノーチャイムは定着している。授業開始の際にさらに落ち着いて取り組める状態となるよう、今後も指導を継続したい。                           |
| 受身にならず、授業を積極的に受けよう。                   | ○ | ほとんどの生徒が教師の指導を素直に受けとめ、学習に熱心に取り組んでいる。家庭学習との連動によってさらなる向上を図っていきたい。                          |
| 将来を考えて生活するスタイルを身につけ、進路目標の実現に向けて努力しよう。 | ○ | 進路目標を明確に持つ生徒が多い。教育相談活動等の充実を図り、さらに自分自身の将来を意識させ、日常の学習と連動させていきたい。                           |
| 研究授業に取り組み、授業アンケートに耳を傾け、授業レベルの向上を図ります。 | ◎ | 充実した授業研究を行うことができた。それに加えて、ICTの活用、教科横断型の授業、データサイエンス学習等の研究も今後継続させていく。                       |
| 生徒にとって入室のしやすい、活気ある職員室にします。            | ◎ | 各教師とも生徒たちの来室に常に丁寧に応じ、学習面の質問等にも熱心に対応している。職員室内はいつも明るい雰囲気である。                               |
| 地域から信頼される学校づくりを目指します。                 | ◎ | 少子化進行の現状はあるが、本校に対する評価は高く、13年連続で定員を確保することができた。九国付中に課せられた使命を強く自覚し、さらなる教育活動のレベルアップに取り組んでいく。 |